

令和元年 10 月 10 日

会 員 各 位

一般社団法人 愛知県建設業協会
専務理事 大 西 克 義

「第 13 回 河川財団名古屋研究発表会」の開催について

標記につきまして、このたび、公益財団法人河川財団名古屋事務所から別紙のとおり、「第 13 回河川財団名古屋研究発表会」の開催につきまして周知依頼がありましたので、ご案内いたします。

以 上

令和元年 10 月吉日

各 位

公益財団法人河川財団 名古屋事務所
所長 山内 博

「第 13 回 河川財団名古屋研究発表会」開催案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より当財団の運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

当財団は、河川整備基金の運営、河川に関する総合的な調査研究、河川教育の普及や人材の育成、河川健康公園の運営などの事業並びに事業成果の社会還元をもって、国民の生活環境の向上に寄与するため、昭和 50 年に「財団法人河川環境管理財団」として設立され平成 25 年 4 月 1 日からは、「公益財団法人河川財団」として公益事業を実施しております。

近年の調査研究におきましては、河川の維持管理、河道変化に順応的に対処する河道管理技術の研究、災害を防止するための河川教育事業などに関わる分野で先進・先導的な課題を積極的に取り上げ、学識者、NPO、企業等と連携を図りながら取り組んでいます。その成果は、次の時代を担うシステムの構築に向けた政策提言や技術基準の制定・改定を支える基盤づくりを目指すものです。

今年も当財団事業成果の社会還元として、河川財団名古屋研究発表会を、本年 11 月 21 日（水）に愛知県産業労働センター「ウインクあいち」901 大会議室にて開催いたします。

本年の講演では、6 月の大阪 G20 でもテーマで取り上げられた世界の海で問題となっているマイクロプラスチック汚染について、海に注ぐ河川からの視点で「全国河川におけるマイクロプラスチック汚染の実態」と題しまして、東京理科大学 理工学部 土木工学科 助教 片岡智哉 氏に御講演頂きます。

また、河川財団の研究発表としまして、河川財団河川総合研究所長 藤田光一所長が「河川の実力（洪水時に河川がどこまで頑張れるか）を読む技術の展望」について発表します。また河川維持管理に関する最新の知見として「三次元データ等の活用による河川管理の効率化と高度化」「河川維持管理 DB システム（RiMaDIS）の運用状況と導入効果」について発表いたします。

中部地域の基金助成事業成果発表としては「濃尾平野の扇状地における河川維持流量の地下水涵養効果」について岐阜大学 神谷浩二教授に、また「中小河川における河道の平面形状がもたらす環境効果と災害復旧への適用」について土木研究所（自然共生研究センター）専門研究員 大槻順朗氏に発表していただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。よろしく申し上げます。

追伸：2019 年 10 月 19 日に海津市にて開催されます「禹王サミット」のチラシを添付させて頂きました。こちらにもご参加ください。

担当 調査係 小野、奥田
TEL. 052-388-7891 FAX. 052-388-7918
E-mail: okuda-y@nagoya.kasen.or.jp



この「第13回 公益財団法人河川財団 名古屋研究発表会」は「土木学会CPDプログラム」として4.0単位認定されています。

第13回

公益財団法人河川財団 名古屋研究発表会

—河川財団研究発表並びに河川基金助成事業成果発表—

日時

令和元年 11月21日(木)
13:00～17:30

交通

- JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

会場

愛知県産業労働センター「ウインクあいち」901大会議室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 TEL.052-571-6131

プログラム

- 13:00 開会・主催者挨拶……………名古屋事務所長 山内 博
- 13:05 来賓挨拶……………中部地方整備局 河川部 河川調査官 川瀬 宏文
- 講 演 —
- 13:10 「全国河川におけるマイクロプラスチック汚染の実態」
……………東京理科大学 理工学部 土木工学科
助教 片岡 智哉
- 14:10 休憩—10分
- 研究発表 —
- 14:20 「河川の実力(洪水時に河川がどこまで頑張れるか)を読む技術の展望」
～維持管理のステージをさらに高めるために～
……………河川総合研究所 所長 藤田 光一
- 14:50 「三次元データ等の活用による河川管理の効率化と高度化」
……………戦略的維持管理研究所 所長 田中 敬也
- 15:20 「河川維持管理DBシステム(RiMaDIS)の運用状況と導入効果」
……………河川総合研究所 研究員 森永 泰司
- 15:50 休憩—10分
- 基金助成事業成果発表 —
- 16:00 「濃尾平野の扇状地における河川維持流量の地下水涵養効果」
～主に異常渇水時の地下水利用可能量を探るために～
……………岐阜大学 教授 神谷 浩二
- 16:40 「中小河川における河道の平面形状がもたらす環境効果と災害復旧
への適用」
……………土木研究所(自然共生研究センター)専門研究員 大槻 順朗
- 17:30 閉会挨拶……………河川財団 経営企画部長 浅野 和広



講演者プロフィール 東京理科大学 理工学部 土木工学科 助教 片岡 智哉 (かたおか ともや)

略 歴:

2006年 徳島大学 工学部 建設工学科 卒業
2014年 豊橋技術科学大学 工学研究科
環境・生命工学専攻 博士課程 修了
2009-2011年 国土交通省 国土技術政策総合研究所
沿岸域システム研究室 研究員
2011-2016年 同 研究官
2016年- 東京理科大学理工学部 土木工学科 助教

主な研究分野: 水工学(海岸工学、水工学)

2019年 「東京湾流入河川河岸におけるマイクロプラスチック堆積量の
モデリングとマッピング」に関する研究で「河川財団奨励賞」。
2016年 「海洋レーダによる面的流況観測を活用したリアルタイム漂流
ゴミ集積域予測システムの開発」で「水路技術奨励賞(日本
水路協会)」。
2013年 「紀伊水道における短波海洋レーダを用いた津波・副振動観
測」で「日本港湾協会論文賞(日本港湾協会)」などを受賞。

主催/公益財団法人 河川財団 名古屋事務所 〒463-0068 名古屋市中山区瀬古三丁目710番地 TEL 052-388-7891

▼裏面に申込書があります

定員 150名 定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

参加費 無料

申込方法 参加ご希望の方は下記の申込書に必要事項をご記入の上、
11月15日(金)までにFAX又は、メールでお申し込み下さい。

問い合わせ先 (公財)河川財団 名古屋事務所 [担当:奥田]
TEL.052-388-7891 FAX.052-388-7918

第13回 河川財団 名古屋研究発表会
参加申込書(送信様式)

052-388-7918までFAX
又は、
okuda-y@nagoya.kasen.or.jp
までメールして下さい。

連絡先

会社名 団体名等			
住所	〒 -		
TEL	()	FAX	()
mail			

参加者氏名	所属	参加者氏名	所属
(参加代表者氏名)			

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は本研究発表会の運営管理のみに使用します。

※申込書は当財団のホームページの「TOP・お知らせ」からダウンロードできます。

<https://www.kasen.or.jp>

2019年
10/19土・20日
12:45 開場

第7回 全国禹王サミットin海津

会場 海津市文化センター 大ホール
岐阜県海津市海津町高須585-1 (駐車場 約200台)

入場無料

木曾川・長良川・揖斐川という3つの大川が集まる岐阜県海津市。海拔ゼロメートルの輪中低地の歴史は、水との闘いの歴史でもあります。現在もなお、水に対する備えや水神信仰は受け継がれており、市内3か所で禹王まつりが行われています。幕末の高須藩主松平義建がもたらした海津の禹王信仰は、国内では数少ない禹王の肖像画や木彫りの像が特徴です。今回のサミットに合わせ、それらを一堂に集めた企画展も開催します。また、本年は東海地区が甚大な被害を受けた伊勢湾台風襲来60年にあたり、“治水の歴史と現在(いま)・これから”について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

禹王(うおう)とは

中国最古の夏王朝(紀元前21世紀～紀元前16世紀頃)を開いたとされる神話時代末期の王です。禹は黄河流域の治水に尽力し、その功績によって王となりました。

禹は後に治水の神として崇められるようになり、日本でも水害多発地域を中心に禹王を祀る石碑や祭礼が全国各地に伝わっています。

禹王木像
高須藩主 松平義建作



企画展

「木曾三川と禹王信仰」

- 2019年9月18日(水)～11月24日(日)
海津市歴史民俗資料館 企画展示室

<参加申し込み・お問い合わせ先>

海津市歴史民俗資料館

〒503-0646 岐阜県海津市海津町萱野205-1
TEL 0584-53-3232 FAX 0584-53-3231
(9:30～17:00/休館日を除く)



海津市空撮写真(向かって右から、木曾川・長良川・揖斐川)



このシンポジウムは、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。

主催/岐阜県海津市、治水神・禹王研究会 共催/国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所
協力/海津市観光協会、高須藩松平三万石顕彰会、大垣輪中研究会、岐阜県歴史資料保存協会ほか
後援/大垣市、大垣市教育委員会

令和元年度に岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を受けています

第7回 全国禹王サミットin海津

▽サミットの内容は、一部変更になる場合があります。
▽交流会・現地見学会・自由見学会（いずれも事前申し込み制）は参加費が必要です。

1日目【10月19日（土）】 海津市文化センター

12:45	開場
13:20	オープニング（二胡演奏）
13:30	開会 ・主催者代表挨拶 ・歓迎挨拶（海津市長 松永清彦） ・第6回禹王サミット開催地首長挨拶（山梨県富士川町長 志村 学）
13:40～14:40	講演Ⅰ「木曾三川流域治水史をめぐって」 岐阜聖徳学園大学教育学部教授 秋山晶則
14:40～15:00	講演Ⅱ「濃尾平野の禹王遺跡と治水信仰」 佛教大学名誉教授、治水神・禹王研究会長 植村善博
15:25～17:20	パネルディスカッション「輪中と伊勢湾台風60年」 ビデオ映像「伊勢湾台風襲来60年」 コーディネーター 植村善博 パネリスト 木曾川下流河川事務所長 村田啓之 // 大垣輪中研究会会長 伊藤憲司 // NPO法人木曾川研究会代表 久保田 稔 // 海津市民代表 伊藤常行（以上敬称略）
17:30	終了 （バス移動）
18:30	交流会（会場 クインテッサホテル大垣）／会費制・要申込



禹王肖像 宋紫岡画/松平義建賛
(願信寺蔵)

2日目【10月20日（日）】 現地見学・海津市歴史民俗資料館

8:25～10:15	現地見学会（要申込） 大垣城周辺（金森吉次郎銅像、明治二十九年大洪水点碑）、大樽川水門改築記念碑（禹閘門）
10:40～11:40	海津市歴史民俗資料館企画展及び常設展見学
11:45～12:00	閉会行事
12:50～16:00	自由見学会（要申込） コース／金廻四間門樋→木曾三川公園タワー→船頭平閘門（木曾川文庫）→勝賀の大池・大樽川切割・薩摩堰治水神社→岐阜羽島駅・海津市歴史民俗資料館

※コースは一部変更する場合があります。

郵送・FAX等にてお申し込み下さい

参加申込書

★申込期限：9月27日（金）

☆1日目の講演会・パネルディスカッションは申し込み不要です。

氏名

住所

電話

メールアドレス

- | | | | |
|------------------|------|---------|------------------|
| ● 交流会（10/19夜） | 参加する | ● 参加しない | ※参加費 5,000円 |
| ● 現地見学会（10/20午前） | 参加する | ● 参加しない | ※参加費 500円 |
| ● 自由見学会（10/20午後） | 参加する | ● 参加しない | ※参加費 1,500円（昼食付） |
- いずれも定員100名

申し込み先／海津市歴史民俗資料館 FAX 0584-53-3231 TEL 0584-53-3232

申込書の個人情報は適切に管理し、本事業以外の目的には使用しません。